



城山成人学校開校

平成30年度は29講座、456名でスタートしました。

いずれの講座も、講師の先生や仲間の皆様と学び合い、支え合い、張り詰めた空気の中にも和やかなつながりの輪が広がっています。

長年にわたり成人学校「古典文学」で源氏物語を学ばれてきた皆様、サークルとして活動することになり、昨年度より1講座減となりました。

また、4講座ある英語の内容を受講者の皆様がわかりやすいように組み直しをしました。英語・英会話の基礎を学ぶ講座を「はじめの英語・英会話」と「英語・英会話の基礎と応用」の2講座、ネイティブな英会話を学ぶ講座を「真子の実用英会話初級」と「ジャスティンの実用英会話」の2講座にしました。「はじめの英語・英会話」は、

もう一度中学校の頃から英語を学び直したいという方や、英語に自信がないけれど勉強してみたいという方を対象に、新たに始めた講座です。絵画の講座は、日本画・木版画も入れて6講座あります。「水彩画初級」「水彩画上級」「洋画」では、善光寺や城山公民館周辺のスケッチをしたり、飯綱等へ一日スケッチに出かけたりします。日本画ではスケッチも学んでいます。善光寺平の歴史を学んでいる講座では、市内近隣の遺跡等へ見学に行きます。夜間は火曜日に「茶道」「書道」「太極拳」木曜日に「洋画・人物画」があり、多くのお勤め帰りの方も学んでいます。成人学校は、年度の途中からでも受講が可能です。興味をもたれた講座に、ぜひ見学にお出かけください。

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集人 小林洋子
発行人
印刷所 (社福ながの) コロニー 長野福祉工場

管内の世帯数 (30・6・1)
第1地区… 2,820
第2地区… 5,429
合計…8,249世帯



成人学校開講式金曜日の様子



茶道(水曜日) 野点



善光寺平の 歴史散歩 ~館外学習~

はじめの英語・英会話 久しぶりの英語に接して

酒井 恵美子

学生時代以降、英語には縁がなく、いつか機会があればもう一度学びたいと考えていました。今回、「はじめの英語・英会話」講座の募集を知り、基本から学び直しを行いたいと思い、4月から受講しています。久しぶりに学ぶ中で、正確な発音も忘れていました。先生が丁寧に指導して下さり、少し不安もありませんでした。先生への丁寧な指導により、新たに気付くことも多く、勉強になっていきます。特に、挨拶等の基本的な英会話からは、様々な文化の違いも学べる機会となっています。久しぶりの英語ですが、何よりも安心して学べるのがうれしいです。

今後受講を通して、英語に親しみ、いつかは、英会話ができるようになるようにしたいと期待しています。



華道初級 楽しい華道の時間

小池 志おり

我が家の玄関には、いつも生花が飾られていました。夫の母が活けたものです。華やかさの中に凛とした美しさがあり、とても素敵で、私もやってみたいと思いました。講座では先生のご指導の下、四季折々の花とふれ合いながら、基本の型を踏まえた上で個性豊かな花を自分らしく活けることを楽しんでいきます。また、同じ基本型で活けても個性あふれる作品を、仲間同士で見合いながら学び合う時間も楽しいひと時です。

忙しい日々の中、花と向き合う時間は心が癒され、穏やかな気持ちになれます。この時間を大切にしていきたいと思えます。

いつか、お母さんのように美しく、花が活けるようになるようにしたいと思っています。



平成29年度成人学校作品展

蔵春閣で行う最後の作品展

毎年2月に、成人学校の1年間の成果を発表してきます。絵画や書道の講座は、蔵春閣1階ホールに作品を展示してきましたが、今回が蔵春閣で行う最後の展示となりました。作品展当日は、1階ホールの隅から隅まで、個性豊かな絵画作品や書道作品、般若心経を写経した作品が展示され、多くの皆様に観ていただき、大変賑わいました。

また、本館では、「華道初級」「着物をリフォーム」「やさしい洋裁」「パッチワーク・キルト」「楽しい日本画とスケッチ」「木版画」「四季をたのしむ盆栽」の力作が教室ごとに展示され、一年間の歩みが伝わってきました。来館された方の中には、制作過程を詳しく聞かれたり、感想を率直に伝えてくださったりする方々もいて、作品展示をした受講者の皆様から「見てくださった方々からの感想や意見が、とても勉強になります。作品展は自分を振り返る貴重な機会です」という話をお聞きすることができました。ス

テージ発表では、「謡曲初級」「太極拳」「太極拳(夜の講座)」「たのしいハーモニカ教室」「ハワイアンフラ入門」「実用英会話入門(英語劇)」「古典文学」の工夫を凝らした素晴らしい発表が行われ、たくさんの方の拍手をいただきました。二つの「茶道」の講座では、実際のお手前を披露し、多くのお客様にお茶を楽しんでいただきました。

「囲碁入門」では、対局を体験でき、その中でも勝ち抜き戦を行い、優勝者には賞状が渡されました。作品展が終わったとき、蔵春閣1階ホール内では、長年作品展を行ってきたことへの感謝の気持ちを表す大きな拍手が、参加した皆様から蔵春閣に贈られました。来年、この場所で作品展示を行えないことを思うと、大変寂しい気持ちになりました。その思いは、作品展に参加された皆様全員が感じられたのではないのでしょうか。蔵春閣で最後となる、思い深い作品展になりました。



平成30年度 城山公民館職員等

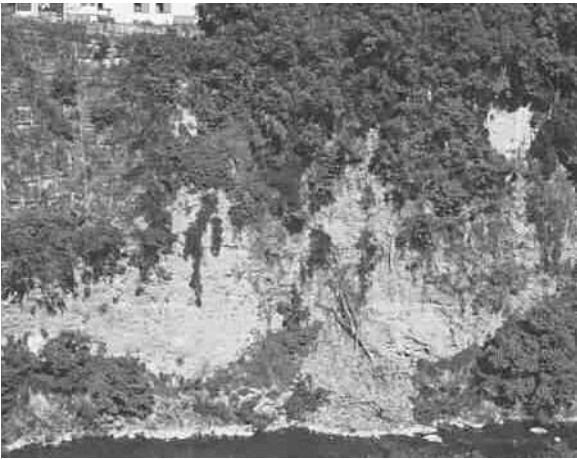
- 館長 小林 洋子
- 係長 岩田 要
- 職員 岡村 律子
- 市川 雅子
- 清水 祐希
- 岩本 友香
- ハッピー牧子
- (新任)
- ▽第一地区分館
- 分館長 黒井 昭
- 分館主事 北條 千秋
- ▽館報「城山」編集委員
- 編集委員長 柄澤 申一
- 編集委員 北條 千秋
- 角田 紀久
- 山口 美緒
- ▽城山公民館運営審議会委員
- 第一地区住自協会長 小池 公雄
- 第一地区民生児童委員 岩倉 正江
- 第一地区横沢町公民館長 廣澤伊一郎
- 第二地区住自協会長 南波 克彦
- 第二地区青少年健全育成委員長 石坂 真一
- 第二地区新町公民館長 高橋 恒雄
- 子育てサークルリーダー 平塚真由美
- 柳町中校長 西澤 道生
- 城山小校長 清水 秀明

足もとから知る わが町の成り立ち

連載①西長野産のナウマンゾウ化石

戸隠地質化石博物館
田辺 智隆

国道406号線の茂菅大橋の下から、ナウマンゾウの歯の化石が産出したことをみなさんご存知でしょうか？1970年（昭和45年）8月30日、信州大学教育学部の学生Sさんが地質調査中に、ゾウの歯の化石を発見しました。裾花川沿いに里島発電所があります、その対岸に大きな崖があり、その崖の砂礫層の中から発見されたのです。京都大学の亀井節夫先生が鑑定しました。



裾花川沿いのナウマンゾウ出土地点

ナウマンゾウは氷河時代の日本に生息し、でっばった頭で体の割に長い牙を持つているのが特徴です。信濃町野尻湖では、約4万年前の化石が多数発掘されることで有名で、当時の岸辺で、旧石器

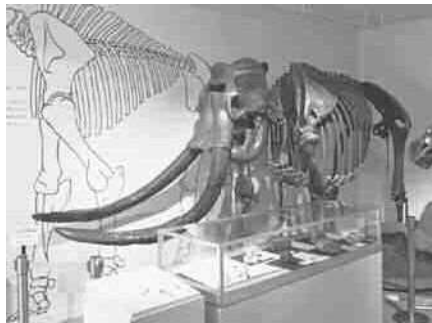


ナウマンゾウ臼歯

ナウマンゾウの歯は、硬いエナメル質に囲まれた咬板（ラメラ）が何枚も積み重なった形をしています。西長野で見つかった化石は、そのラメラのうちの一枚です。今のところ、市内で唯一のナウマンゾウ化石です。

この砂礫層は、裾花川が上流から運んできたもので、飯縄山や戸隠山の安山岩、裾花凝灰岩、チャートなどの礫を含んでいます。裾花川が長野盆地に流れ込んだ際に広がった河原（扇状地）をつくりました。ナウマンゾウはその扇状地にすんでいたものと思われる。

時代の人々が肉を食料にするために狩りをして、解体もしていた場所ではないか、と考えられています。西長野のナウマンゾウ化石は詳しい年代がよくわかっていませんが、おそらく5万年前から10万年前のものだと考えられています。今後も化石が見つかるかもしれません。それにしても、西長野にナウマンゾウが歩いてきたことを思うと、ワクワクしますね。



ナウマンゾウ骨格

今後の掲載予定

シリーズ第3弾が始まりました。今後の掲載予定です。楽しみにしていてください。

- 第2回 鐘井堰を歩くその1
- 第3回 鐘井堰を歩くその2
- 第4回 茂菅の油徴と長野石油会社
- 第5回 箱清水式土器
- 第6回 里島発電所を歩く

城山団地公民館だより 公民館活動、再開！

城山団地地区は昭和30年代に宅地分譲された団地で約百戸余りの区です。分譲団地特有の一団となっていた年齢層も60有余年経った現在では、第一世代、二世帯、三世帯、転居して来られた方等で、層はばらけた構成です。

2年前から、諸事情により公民館組織体制が構築できず休眠状態に至り、公民館が主催していた主要行事の新年会、敬老祝賀会、文化祭等、区民が一堂に集うコミュニケーションの場が無くなることに、区内情報でもある館報発行も途切れてしまい、憂慮と公民館活動復活の声があがりました。

年初、平成30年度公民館活動再開に向け、役員選考委員諸氏による役員候補者に受諾要請したところ、皆さんの思いは同じで快諾して頂いたとの事。結果、館長、副館長含め6名による公民館役員組織体制が区総会で承認構築されました。

新年度に入り公民館役員会議で、先ずは先人が従来開催していた諸行事並びに実施事

項を継承すべく、役員一同で合意しました。早速、育成会より年間計画として文化祭に出展する作品づくりを予定しているとの情報を頂き、子ども達も参加した心強い援軍を得、三世帯による展示発表と交流が予定されました。

地区自治会組織においては、各担務委員会があり、また、同好会サークル等活動はあるものの区民が一堂に集う機会は祭典を除き、フォーマルな年度総会のみである為、公民館活動が担う役割と期待の大きさを改めて認識し、多くの方が参加し、触れ合える集いの場作りを目指し、役員一同活動再開の責務を果たしたいとの思いです。

(城山団地公民館長

金井 泰憲)



昭和40年代の城山団地区遠景

城山公民館 歴史シリーズ 「蔵春閣」50年の歴史に幕

昨年一年間、「城山公民館歴史シリーズ」として、4回にわたり「蔵春閣の歴史」についてお伝えしてきました。

今年度からは、「城山公民館歴史シリーズ」として、城山周辺および、第1地区、第2地区にある史跡や時の流れの中で忘れられてきた歴史などを発信し、再度、第1地区、第2地区を見直す機会になることを願っています。今回は、昨年度の歴史シリーズ「さよなら、蔵春閣」のまとめとして、歴史ある「蔵春閣」を閉館した、平成30年3月31日の様子をお知らせします。この日は、講座「さよなら、蔵春閣」第3回目を1部・2部に分けて行いました。

第1部 蔵春閣の思い出

4組の皆様に、蔵春閣の思い出を語っていただきました。

① 結婚式の思い出

45年前、城山公民館を拠点に月刊誌「人生手帳」をもとに学んでいた青年の活動がご縁で結婚されたご夫婦の話です。その仲間の皆様の手作り



結婚式を蔵春閣1階ホールで行ったそうです。奥様のお母様の遺品からその時の小冊子が出て来て、「夫婦の歯車が合わなくなった時に見せる」とお母様の字で表紙に書かれていたそうです。幸せなことに一度も見ることなく今日に至っているそうです。蔵春閣は「我ら夫婦の始発駅」だと話されました。

② 蔵春閣食堂厨房に勤めて

開館当時、洋食部門の料理人として働いていた方の話です。春秋の結婚シーズンの忙しさは、朝4時出勤、夜10時退勤という日々が続いたとのこと。帰宅せず、椅子を並べて仮眠したことが何回もあったそうです。もう時効だから

と、当時の結婚式場の巫女さんは、ウエイトレスさんがやっていたと話されました。

③ 善光寺門前町再発見

1階ホールを使って、当時の公民館長や地域の区長さんも参加して、演劇に取り組んだ話をお聞きしました。蔵春閣を会場に、町作りに取り組みできた話もお聞きすることができました。

④ ダンスパーティー

夜練習していると、東側のガラス戸越しに狸の親子が練習を見に来てほほえましかつたことや、練習成果を施設訪問で発揮し、入所者の方と一緒に踊り、喜んでいただいたことなど話されました。その後、実際にダンスを披露してくださいました。

第2部 昔の賑わいを体験

地域の希望者20名限定で結婚披露宴に参加していただきました。新郎新婦の二人は、人々の思いと共に歴史を刻んできた蔵春閣の佇まいと空間の美しさに心魅かれ、蔵春閣で結婚披露宴を行いたいと望まれました。約120名の方々が若いご夫婦の門出を祝い、明るく和やかな時間がゆったりと過ぎていきました。蔵春閣も喜んでいるように輝いて見えました。

披露宴が無事終了し、館長が50年の歴史を閉じる蔵春閣に感謝の言葉を伝え、入り口の施錠をしました。施錠をした後でも、蔵春閣の息づかいが感じられるようでした。多くの皆様のお力添えの元、昔の賑わいを取り戻すことができ、忘れられない蔵春閣最後の日となりました。蔵春閣を長年にわたりご利用いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。



あちこちスナップ

役割を終えた旧県立短大の明和寮

編集後記

我が職場近くに「サンマリンながの」がオープンして数カ月が経ちました。施設内にはプールのほか、リーズナブルに利用できるトレーニングルームもあります。夏に向けて心身ともに鍛えたいところですが、なかなか第一歩を踏み出せず…。成人学校をはじめ、市民講座や親子学級など当公民館を利用される皆様に日々、刺激をいただいております。よいし、私も続くぞー(角田)

城山公民館図書室

新刊図書のご案内

※他にもご希望の本がありましたら、お問い合わせください。

- 「インフルエンス」
- 「駐在日記」
- 「君たちはどう生きるか」
- 「おらおらでひとりいぐも」
- 「美女は天下の回りもの」
- 「ハリケーン」
- 「天翔ける」
- 「嘘 Love Lies」
- 「だるまちゃんとはやたちゃん」
- 「口笛の上手な白雪姫」

- 近藤 史恵
- 小路 幸也
- 吉野源三郎
- 若竹千佐子
- 林 真理子
- 高嶋 哲夫
- 葉室 麟
- 村山 由佳
- 加古 里子
- 小川 洋子